



柏の葉だより

<学校教育目標>

学ぶ楽しさを知り
生きる喜びが分かる
心身ともにたくましい生徒の育成

学校だより 2024 第5号

6月18日発行

市川市立第五中学校

校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

第1回学校運営協議会報告

地域関係者・PTA代表・学校代表・市教委により、五中学校運営について協議した内容を報告します。(6月13日:開催)

<議 事>

(1) 令和6年度学校経営方針について

【提案】

学校経営方針の具現化のため、次の2つをスローガンに、7つの経営重点を実行する。

◎第五中学校のブランド力を向上する

- ①学校運営協議会の充実
- ②学校HP『五中ブログ』による学校の魅力発信
- ③市内最高価格の制服価格低減
- ④教職員の勤務時間適正化

◎子ども達の笑顔を増やす

- ⑤自己指導能力を高める学習環境整備
- ⑥校内教育支援センター『あすなろ教室』の機能向上

⑦自己肯定感を高める教育活動の充実

【協議内容】

■学校経営方針「2つのスローガン」と「7つの経営重点」を教職員に周知していることの確認。(スローガンは、生徒・保護者にも周知している) ■体育祭の学級対抗リレーのラストシーンが、参観者の感動を呼んだ。生徒が、学校行事に取り組む姿勢が素晴らしい。 ■『まなびくらぶ』に大勢の生徒が意欲的に参加している。家庭教育および教職員の日ごろの指導のたまものと感じている。 ■学校教育目標: 「学ぶ楽しさを知り、生きる喜びが分かる…」につながる。 ■五中ブログによる修学旅行リアルタイム報告は、興味深く、保護者も一緒に旅行を楽しむような気持ちになれた。『いいね!』カウントアップの重要性を理解した。 ■本会として提案承認のうえ、今後の教育活動を経過観察し、学校評価に生かす。

(2) 市川大野高等学園に係る要望書について

【提案】

市川大野駅から五中グランド脇を通り、市川大野高等学園に向かう道路の危険個所の安全性向上をはかるため、五中と大野学園の学校運営協議会が協力し、市川市に要

望書を提出する。

【協議内容】

■令和4年度に同様の要望書を提出しているが、事前準備が不足していた。■地域として、五中生と特別支援学校生徒の登下校の安全を守ることは、教育上重要であり、両校の協力体制が構築されるとよい。■本会および関係者で、市担当部署に要請し、現地調査を実施したうえで、実行性ある要望を行うこととする。

(3) 制服価格見直しについて

(本件の経緯および学校指定衣料品値上げ後想定価格等についての詳細は、学校だより第4号参照)

【経過報告】

①5月初頭、令和7年度から、五中制服・ジャージなど指定衣料品を約10%値上げる旨、取扱いメーカー『東京管公学生服』から告知あり。

②関係家庭の経済的負担を抑えるために、指定衣料品のデザインを生かしながら、素材や製造工程を見直して値上げ幅を抑えるよう、学校が東京管公学生服と交渉したところ、次の2点の回答があった。

○ジャージ上衣は、五中デザインと同様で機能性を向上した新素材の製品を提供可能。ボトム、ハーフパンツ、体操服は、新素材で、五中デザインと配色を合わせたメーカー既製品の提供が可能。

○制服は、生地確保が難しく、令和7年度新入生に制服を提供することが困難。

③指定衣料品の機能性向上および価格値上がり幅を抑制するため、ジャージ・体操服は、メーカー提案により検討する。

④制服は、ジャケットおよびボトムが、五中デザインと同様または近似の製品を東京管公学生服よりも安価で提供可能な他メーカーの選定を検討する。

⑤令和7年度以降、現行ジャージ・体操服等も使用可能とする。

⑥指定のワイシャツ・ブラウスについて、市販品も使用可とすることを検討する。

⑦今後は、五中および学区小学校関係者(生徒・児童・保護者)に、制服選定に関するアンケート調査を実施するとともに『学校運営協議会制服検討専門部会』で、メーカー選定作業を進める。

【確認事項】

■五中の現行制服・ジャージのデザインを生かしたものとする。(卒業生から譲り受けた制服・ジャージ類を引き続き着用しやすいようにしたい)

■児童・生徒・保護者に、制服サンプル画像、機能性資料を提示してアンケート調査を実施し、メーカー選定の参考とする。

■制服生地の確保が、各メーカーの課題となっているため、メーカー選定作業を速やかに進める。(7月初旬が生地発注期限)

■夏季は、「ジャージ・体操服登校」を可としているため夏季制服(夏服)は、「通常の学校生活で使うことはありません」と新入生保護者に説明している。